



北原荘だより

第96号
2024.1

編集発行 特別養護老人ホーム
北原荘

〒966-0902 喜多方市松山町村松字北原3656-11
電話 0241-24-4567(代) <http://www.tenshinkai.or.jp>

開設40周年記念号



理事長
飯塚 卓

明けましておめでとうございます。天心会理事長の飯塚卓です。皆さまには良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

このたび北原荘は四十周年を迎えました。記念号ということで一言ご挨拶申し上げます。北原荘は昭和五十八年に社会福祉法人天心会が設立した施設です。今まで順調に事業を続けられたことは国・県・市町村からの多大なるご援助やボランティアの皆様のご協力、地域の多くの方々のご援助・ご指導の賜物と深く申し上げます。前理事長は天心会設立以前に飯塚病院で老人病棟を運営し、高齢者のためには「病院」という医療中心の場ではなく多様な「生活の場」が必要と考えて北原荘を立ち上げました。設立当初はさまざまな苦労がありました。地域の皆さま、職員の方々の努力などでそれらを乗り越え現在に至ります。

昭和五十八年設立当時の全国高齢化率はわずか10%程度でしたが、令和五年現在では29%、喜多方市では35%を超えており、より高齢化が進んでいます。障がいの有無にかかわらず、高齢者を支えるにはもはや施設だけでは困難であり、今後は地域の皆で支える「地域包括ケアシステム」の構築が急がれます。そうしたなか、北原荘はこれからも地域の介護福祉の中心として五十年、百年続く施設となるよう職員一同努力します。私たちの持つ資源や人材をフルに活用して地域の皆さまと一体となって地域福祉の充実に役立ちたいと思っております。今後ともご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



施設長
古木 俊一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃より当法人、施設運営に對しましてご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、北原荘が開設して四十周年を迎えることができました。この四十年を前期と後期に分けるとすれば、前期は措置時代、後期は平成十二年の介護保険制度、成年後見制度の施行と捉えることができます。やはり介護保険制度の施行は大きな転換期になったと思います。「措置」から「契約」へ、「運営」から「経営」へと叫ばれ、自ずと私たちの意識も変えていかなければならなくなりました。「対等」な援助関係の契約制度に変わり、福祉サービスは普遍的なものに確かに変わってきたと思います。

しかし、一方で少子高齢化、人口減少の中、働き手不足が深刻化しています。また、地域の中では、一人暮らし等の高齢者世帯の増加、新たな貧困の問題や引きこもり等表面化しにくい問題もあります。今後、法人や施設は改めて今日の地域福祉の課題に目を向けていかなければならないと思います。今年の干支「甲辰」は、「春の日差しが、あまねく成長を助ける」だそうです。皆様にとって今年一年がより良い年でありますようお願い申し上げますと共に、当施設では、これからも「利用者本位の支援」「地域福祉の向上」に職員一同取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



開設四十周年によせて
北原荘家族会会長
秋山 伸子

開設四十周年おめでとうございます。開設時は福祉施設の先駆けで、機会があつて建物を見学させていただきました。今も全く変わりないですが、正面玄関から入つてのエントランスのゆったりとした空間の素晴らしさ、各部屋の曲線で造られている入口や天井の造形、素敵な絵画等、今でもはつきり覚えております。優しさ溢れる介護・福祉が想像出来ました。現在も喜多方市内で待機人数が一番多いとお伺いしました。

母が三年前から大変お世話になっております。入所当時からコロナ流行の兆しがあり、気軽に面会したり、立ち寄ることも出来ない状況です。お世話になっている職員の方ともなかなかお話しする機会も少なく、すべておまかせで申し訳なく思います。家族会の行事もあまり出来ていません。今後以前のように簡単には戻れないと思いますが、少しでも関わりを持ち、微力ですがお手伝い出来ればと思います。超高齢社会の波が押し寄せていますが、担い手の中心として、施設の益々のご発展をお祈り申し上げますと共に職員の皆様のご健康をお祈り申し上げます。



開設四十周年によせて
北原荘利用者
元ボランティア
伊藤 スミ

北原荘開設四十周年おめでとうございます。私は「よつばの会」というボランティアグループで北原荘に出入りさせて頂いていました。

当時、十五名ほどの仲間たちとともに、「自分たちもまだ体が利くし、何か人のためになることをやりたいね」と話していた時にちょうど開設したのが北原荘でした。四五人ほどのグループで、洗濯物たたみや布おむつのセット、繕い物などを行いました。どれもやりがいのあるものでした。布おむつのセットは、男性と女性ではやり方が異なるのですが、職員の方に丁寧に教えて頂きながら、「今日は男性の方を多くお願いします」などの要望に合わせて行っていたのを覚えています。作業が終わると、有隣病院のバスに乗って帰途につき、「また来週ね」というのが仲間との合言葉でした。大変な時もありましたが、家でゴロゴロしているよりも、お年寄りや職員の方々の元気な顔を見られることがとてもうれしく、本当に楽しかったです。

私は昨年百一歳になり、北原荘で生活していますが、現在も毎日たまたみものなどのお手伝いをさせて頂いていて、昔を思い出すこともあり。これから職員の方々にお手間をかけることもあると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

特別養護老人ホーム 北原荘

これまでの歩み

- 昭和57年9月6日 社会福祉法人天心会設立
- 昭和58年4月1日 特別養護老人ホーム北原荘開設
入所定員80名
- 昭和59年4月1日 喜多方市委託事業で短期保護、入浴サービス事業開始
- 昭和63年4月1日 社会福祉士及び介護福祉士法施行
- 平成3年9月1日 喜多方市委託事業で在宅老人給食サービスを実施
- 平成8年10月1日 短期入所定員4名増床
- 平成12年4月1日 介護保険法施行
介護老人福祉施設
特別養護老人ホーム北原荘
(入所・短期入所)
- 平成14年9月30日 北原荘居宅介護支援センター増設
- 平成14年10月1日 短期入所定員6名増床 計10名
- 平成16年8月10日 浴室(一般・中間浴)増設
- 平成18年4月1日 旧一般浴室改築
- 平成18年4月1日 介護保険法改正
介護予防サービス事業
特別養護老人ホーム北原荘
介護予防短期入所生活介護
北原荘居宅介護支援センター
介護予防計画作成業務の受託
- 平成23年3月1日 喜多方市委託事業入浴サービス事業終了
- 平成29年10月17日 福島県より生活困窮者就労訓練事業として認定を受ける
- 12月19日 同事業開始
- 令和3年11月1日 喜多方市基準該当障害福祉サービス事業所(基準該当短期入所)に登録
- 喜多方市地域生活支援拠点等緊急時の受け入れ・対応事業受託